

「紙屋町シャレオ西通り活性化プロジェクト」 広島工業大学学生参上!

2001年4月に「紙屋町シャレオ」ができてからすでに20年を経過した。その頃に生まれた広島工業大学環境学部建築デザイン学科の3年次10名のゼミ生が「紙屋町シャレオ西通り活性化プロジェクト」に参加している。このプロジェクトの話があった時にはすでに他の産学連携の活動がスタートしていたが、学生は「両方ともに参加したい」と欲張るくらい魅力を感じていた。

西通りはフードストリートであり、旧広島市民球場跡地や広島記念公園方面にもつながり、アストラムラインや広島電鉄・バスセンターにもつながる立地の良い場所である。

このプロジェクトのフェーズは2段階あり、第1フェーズは2021年8月～12月までのプロジェクトで、第2フェーズは2022年1月～3月までの希望する学生数名による(株)乃村工藝社中四国支店でのワークへの参加となっている。

第1フェーズでは、学生だけではなく経済産業省中国経済産業局、広島県地域政策局、広島市経済観光局、(公)広島観光コンベンションビューロー、広島電鉄(株)、(株)乃村工藝社、広島地下街開発(株)の方々も参加され、学生を含めた3つのグループに分かれ、事前に学生が考えてきたプランへのアドバイスやご意見を頂き、まとめ直したものを毎回発表している。

現地調査から始まり月に1度のペースにて5回のディスカッションがあり、最終回の発表がコロナ禍のため未だにできていない状況である。学生たちは全員で行った現地調査以外にも、各自が朝早くや夜遅くに「シャレオ」を訪れて捉えた現状の問題点と課題から、様々なアイデアを提案している。

その一つ目は、西通り内の左右にある2つの通路のターゲット層を完全に分けた「ツイン横丁」。中央の島のゾーンは「チャレンジキッチンエリア」として、シャレオから新しいグルメが生まれる「食の発信地」としての機能を持たせる。二つ目は、瀬戸内海に面する5県を含み全体の環境を西通りに還元し、5県の物産販売とご当地グルメのゾーンの中を人が自由に場所移動ができる「Setreet」。三つ目は、地下道にいながら屋外にいるような気分が味わえる大きな庇の下のコミュニティスペース「和棲道」。

地上との関係性や、ターゲットの絞り方、他の地域の地下商店街との差別化などあらゆる角度からの検討が必要で、同じグループになった社会人から鋭い指摘やお褒めの言葉から、短期間で和気あいあいと社会人のコミュニケーション能力・総合力に刺激され、多くの成長ポイントが見受けられた。社会を動かしている社会人メンバーから学生へなにがしかのバトンが受け渡されているように思えた。

やっと第一フェーズの最終発表日が決まった。第二フェーズに向けて参加学生も決まり、さらに魅力的なプランへとアップさせる。



Profile

広島工業大学 教授・博士(工学)
平田 圭子

東京芸術大学研究科修了。1993年～広島工業大学へ着任。専門は「人を取りまく居住環境デザイン」。ゼミでは「HLab」という活動団体をつくり、学生とともに地域を盛り上げるPBL活動を行っている。共著「つながる環境デザインがわかる」(朝倉書店)

若い力を プラザ は応援します!!

プラザは、生涯学習や市民活動・ボランティアグループの活動を支援する施設です。



1 少人数なら無料でミーティングができるフリースペース



人数に合わせて机を組み合わせることもできます。ホワイトボードの貸出もあります。事前予約なしで利用できます。

2 資料やポスターなど印刷ができる(有料)



裁断機、ラミネーター、紙折機などさまざまな機器が揃っています。作業スペースもあります。

3 会議や研修、展示など(有料)



研修室、スタジオ、ギャラリーなど、人数や用途に応じた部屋があります。マイクやプロジェクターなどの備品もあります。

4 成果発表をやりたい! プラザが応援します



プラザが全面バックアップ。部屋や備品も無料で利用できます。詳細は、P. 14の「市民活動団体等成果発表事業」へ。

※フリースペース及び作業室は、政治、宗教、営利、金銭の授受が伴うような活動では利用することができません。

詳細については、広島市まちづくり市民交流プラザへお問い合わせください。

ようこそ! 公民館へ ～安佐南内公民館～

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」でまちづくりに関する活動をしているグループをご紹介します。

1 古市クップの会

古市公民館

私たちは、古市公民館で活動している「古市クップの会」です。当会は毎週月曜日の午前中に公民館で約2時間、クップの練習をしています。時々公園で行う時もあります。

さて、クップとは北欧のバイキングが考案したとされるスウェーデン生まれのニュースポーツです。室内、室外のどちらでも出来ますが道具は異なります。簡単にルールを説明するとコート中央に大きな木片(キング)を置きセンターを挟んで対峙し円筒状の棒を投げ、最終的に先にキングを倒した方が勝ちというものです。技術もさることながら、知的な部分も必要で極めて奥深いものがあります。

約7年前に古市公民館の主催事業で、シニア向けの余暇活用講座の受講者が数人で始めたグループで、当初道具などは手作りでした。現在は70代～80代の男女18名で活動しています。手作りだった道具も現在は市販品を使用しています。

クップは軽スポーツで体力をあまり必要としないため、高齢者が大半ながら休むことなく、健康と生きがいを兼ねて和気あいあいと親睦を深めています。時々近くの別のグループと交流会を行ったり、竜王公園で開催される地区大会にも参加しています。



2 キッズ体操教室

安東公民館

キッズ体操教室は、令和2年春に公民館

主催事業がきっかけとなったグループです。対象は小学生で会員は男女15名、第1・3土曜日コースと第2・4土曜日コース、午後2時から約2時間、マット運動や跳び箱、鉄棒を通してすべての基本となる体づくりを目指しています。

基礎運動は栗林先生が「ワニ歩き」、「かえる跳び」、「三点倒立」などかけ声をかけると、子ども達はうつぶせになってはうように歩いたり、一度しゃがんでびよんととびはねたり、逆立ちをします。

新型コロナウイルスの影響もあり運動の機会が減る昨今ですが、一人一人のレベルに合わせてきめ細かい指導の下、子ども達は学年の垣根なくわきあいあいと楽しく運動しています。また昨年12月には日頃の練習成果を披露すべくマット運動の発表会を行いました。

現在、新規会員募集中です。興味のある方はぜひ見学にお越しください。



3 おとなりさん～大学生ボランティア～

安公民館

「おとなりさん」は、地域の子どもたちに「遊び場づくり・居場所づくり」を行っている大学生のボランティアサークルです。メンバーは安佐南区にある広島修道大学と安田女子大学の学生で、放課後や休日を中心に「おとなりさんのあく日」という集いの場を公民館で開いています。子どもたちと体を動かしたり、折り紙で遊んだり、ときには勉強も教えてくれる頼もしい存在で、子どもたちの人気者です。また、「あく日」のほか、季節に応じたイベントも企画するなど、将来、教員や幼児教育に携わる仕事をめざす彼らにとって、有意義な機会となっています。

平成14年(2002年)6月に発足した『おとなりさん』は、今年で20周年を迎えます。代表の森下美滯さんは「保育士になるという夢に向かって経験を積むことができ、多くの子どもたちと触れ合う場は、私の自信にも繋がっています。「おとなりさん」が子どもたちや地域にとって、安心できる居場所になってくれれば。」と、歴史を受け継ぐ後輩にも

熱い視線を注ぎます。

今後は、地域に出かけていくなど、子どもの居場所づくりのすそ野を広げる活動にも期待が高まります。



4 郷土神楽研究会

祇園公民館

広島市と合併前の祇園町時代に造られた、祇園公民館の劇場のような舞台付きホールで長きに渡り石見神楽を練習しているグループです。

44年前広島市の北部、山県郡や高田郡をふるさともつ仲間が集まって始めた活動が、世代を超えて高齢者も若者も一緒になって練習に励み、北広島町にある丸屋形神楽団の指導のもと、各地の秋祭りやイベントなどで神楽団と一緒に神楽を舞わせていただくまでになりました。

また、例年3月の第1土、日の二日間で行われる祇園公民館まつりでは、いつも大トリを務め好評をいただいています。

一週間に一度、木曜日の夜、公民館に集まった練習は、「舞、お囃子、口上」と体を動かしながら、仕事以外での連帯感やストレス発散にこれ以上ない爽快なものです。

伝統的な石見神楽の継承、自己表現、仲間づくりに、そして神楽に興味のある方は年齢、性別関係なく遊びにおいでください。



グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

- 1 古市公民館 …………… ☎082-877-2677
- 2 安東公民館 …………… ☎082-878-7683
- 3 安公民館 …………… ☎082-872-4495
- 4 祇園公民館 …………… ☎082-874-5181

名人宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。地域活動やまちづくりのお手伝いに、今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

ハワイアンリトミック講師 うらかみ かな
浦上 佳奈さん

子育てに悩んでいる親を笑顔に、子どもの情操教育に 親子でハワイアンリトミックを楽しんでもらいたい

広島ではまだ少ないハワイアンリトミックの講師として活動している浦上佳奈さん。子育て中の親たちに「親子のコミュニケーションと癒しを」と自身の経験も踏まえながら居心地の良い場所を提供しています。

ハワイアンリトミックとは、ハワイアン音楽に合わせて歌ったり、踊ったり、リズム遊び、表現遊びなど、ハワイのフラの要素を取り入れたリトミックです。子どもたちに馴染みのある童謡などをハワイアン風にアレンジしたり、親しみやすいのも特徴です。

親子のふれあいと、体を使い歌ったり踊ったり、演奏したりすることで個性や想像力、自分を表現する力を育てる子どもの教育も目的としています。またハワイアンミュージックやウクレレの音色に合わせてリトミックを行なうことで、心身ともに癒しの効果も得られます。

浦上さんがハワイアンリトミックに出会ったのは6年前。2人の男の子のママとして子育てに奮闘している最中でした。子どもの成長や笑顔を見られることに喜びを感じつつも、小さな疲労が蓄積されストレスも溜まっていく、そんな自分に罪悪感を抱いていた頃、地域の親たちの集まりに参加しました。そこで「ストレスをどう発散したらよいかかわからない」という参加者の声があまりにも多く衝撃を受けたそうです。「私のストレス解消法は以前から続けていたフラダンスでした。けれど、ストレスの発散方法がわからず悶々と暮らしている親がたくさんいることを知りました」と振り返ります。



▲タヒチアンダンスを踊る浦上さん

このことが転機となり「親子で楽しめることを」と始めたのがハワイアンリトミックです。令和3年には人材バンクへ登録し、公民館などで親子を対象に活動しています。

「まずは親に笑顔になってほしい、子どもは本当によく見えています。親が笑顔だと、それだけで安心して自然と子どもも笑顔になるんです」と話す浦上さん。音楽の力も借りながら「何も考えなくていいんです。とにかく楽しんでほしい」と言います。また「フラダンスの手の動きは手話になっています。小さい子どもも繰り返し体験することで手話も覚えてくれる。かわいく表現する姿がたまたま愛おしくて。親たちにとっては何よりのプレゼントになっていると思います」と子どもの成長も親の励みとなっているそうです。

「子育てに悩んだ時、こんな思いをしているのは自分だけじゃない。と知ることです。いぶん楽になれると思うんです。そんな場所を作りたい」と、話す浦上さんの更なる目標は発語支援の資格を生かした発語レッスン&クラスの始動。これからは頑張る親たちのために浦上さんのチャレンジは続きます。



▲浦上佳奈さん



▲ハワイアンリトミックを楽しそうにする子どもたち



▲子どもたちのレッスンの様子



▲親子でハワイアンリトミックをする様子

あなたらしく、ボランティア活動をはじめませんか！ 「まちづくりボランティア人材バンク」への登録をお待ちしております。

自分の知識や技術、特技を生かして「ボランティア活動がしたい」、「地域社会の役に立ちたい」…しかし、いざ何かしたいと思っても、どこで、どのように、活動の場を探せばいいのかわからないとお悩みの方はおられませんか。

そんな方におすすめの制度が「まちづくりボランティア人材バンク」です。活動の第一歩は「私はこんなボランティアができます」という情報を公開することです。そうすれば、あなたの力を必

要とするグループや団体から、「教えてほしい」「お手伝いしてほしい」というお声がかかるかもしれません。

合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）が、ボランティアを依頼したいグループ・団体とボランティア登録者の仲介を行い、双方の希望に合う活動の場をコーディネートさせていただきます。

ボランティア登録に必要なものは、あなたのや

る気だけです。免許や資格は問いません。仕事や趣味等で得たあなたの知識や技術を、ぜひ「まちづくり」にお役立てください。

なお、まちづくりボランティア人材バンクは、政治・宗教・営利目的での登録並びに紹介申込は受けておりません。また、依頼があれば、紹介させていただくシステムです。登録された方に、もれなく活動の場をお約束するものではないことをあらかじめご了承ください。

登録内容の一例をご紹介します。

●学習・子育て

子育て支援向け講演会、コミュニケーション能力を高めて人間関係を築く、乳幼児と保護者のふれあい（リトミック・メンタルケア）小中学生対象キャリア講演、心の参観日

●社会・歴史

観光案内ボランティア、平和について語り、カーブの歴史語り部、まちの地理や歴史を歩いて深く知る

●自然・環境

環境にやさしい遊び、自然素材を使ったクラフト、野山の自然を楽しみながら健康を考える

●技術・ICT

パソコンの指導全般、デジタル教材の作成指導、

スマートフォンの便利な使い方

●健康・医学

ストレスに強くなる心の健康づくり、中国の伝統的な気功指導、介護者支援、カラーセラピー、健康を考えた食生活、体と心のセルフケア、パン・ケーキ作り

●趣味全般

アートフラワーデザイン指導、フラワーデザイン・花遊び・花育、手染で小物づくり、手品の実演、マジック・レクリエーション、パネルシアター、絵手紙、川柳

●市民生活・社会福祉

災害ボランティア活動についての講演、中高年のいきいきライフアドバイス、介護指導、大人のた

めの朗読、いきいきとしたシニアライフの過ごし方

●国際理解・語学

国際理解・協力に関するワークショップ、国の文化・教育・社会について

●芸術・文化

古典芸能、フラダンス、ハワイアンバンド、落語・漫談、民族舞踊、軽音楽演奏

●スポーツレクリエーション

野外活動、武道を主体とした護身術、レクリエーション

●まちづくり

話し合いの場を円滑に進行させる役割について、生涯学習出前講座の企画・運営

ボランティア紹介・登録などのお申込・お問い合わせは… 広島市まちづくり市民交流プラザ（合人社ウエンディひと・まちプラザ）
☎(082)545-3911 ㊟(082)545-3838



（公財）広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm1（ふむふむ）」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、（公財）広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

第19回助成事業「成果発表会」& 第20回助成事業「公開審査会」

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hm1（ふむふむ）。広島の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。どなたでも観覧できます。

●日時 第19回成果発表会

5月14日（土）午前10時～正午

第20回公開審査会

5月14日（土）午後1時～5時15分

●場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）北棟4階ギャラリー

●問合せ （公財）広島市文化財団
ひと・まちネットワーク部管理課事業係
電話082-541-5335

寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドHm1（ふむふむ）は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

※手数料は自己負担となります。

※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。

※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日（休日の場合は翌営業日）に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm1（ふむふむ）」とは…【ひと（Hito） まち（Machi） 広島（Hiroshima） 未来づくり（Miraizukuri） ファンド】の略で、頭文字（HM HM）をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。